

2024.3.16 Sat. – 5.19 Sun.

開館時間=10:00–18:00 ※入場は閉館の30分前まで

休館日=月曜日[ただし4月29日(月・祝)、5月6日(月・振休)は開館、4月30日(火)、5月7日(火)は休館]

Opening hours: 10:00–18:00 *Last admission 30 minutes before closing

Closed: Mondays (except April 29 and May 6), April 30 and May 7

スーラージュと



森田子龍(蒼) 1954年、国立国際美術館

Pierre Soulages and
Morita Shiryu

森田子龍

観覧料=一般1,600(1,400)円、大学生1,000(800)円、高校生以下無料、70歳以上800円、障害者手帳等をお持ちの方[一般]400円 [大学生]250円
※()内は前売料金(一般、大学生のみ)。前売販売期間: 1月12日(金)–3月15日(金)(会期中は販売しません) ※一般以外の料金でご利用される方は証明書を観覧当日ご提示ください。※障害者手帳等をお持ちの方1名につき、介助者1名無料 ※コレクション展は別途観覧料が必要です(本展とあわせて観覧される場合は割引があります)。
※予約制ではありません。混雑時は人数制限を行いますのでお待ちいただく場合があります。※団体鑑賞をご希望の場合は1ヶ月前までにご連絡ください。

[主なチケット販売場所] ローソンチケット(Lコード: 53860)、チケットぴあ(Pコード: 686-779)、セブンチケット(セブンコード: 103-908)、楽天チケット、イーブラス、CNプレイガイド、アソビュー!

〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1-1-1 [HAT神戸内]
1-1-1 Wakinohama Kaigan-dori, Chuo-ku, Kobe City 651-0073
[Inside HAT Kobe]
tel. 078-262-1011 <https://www.artm.pref.hyogo.jp/>



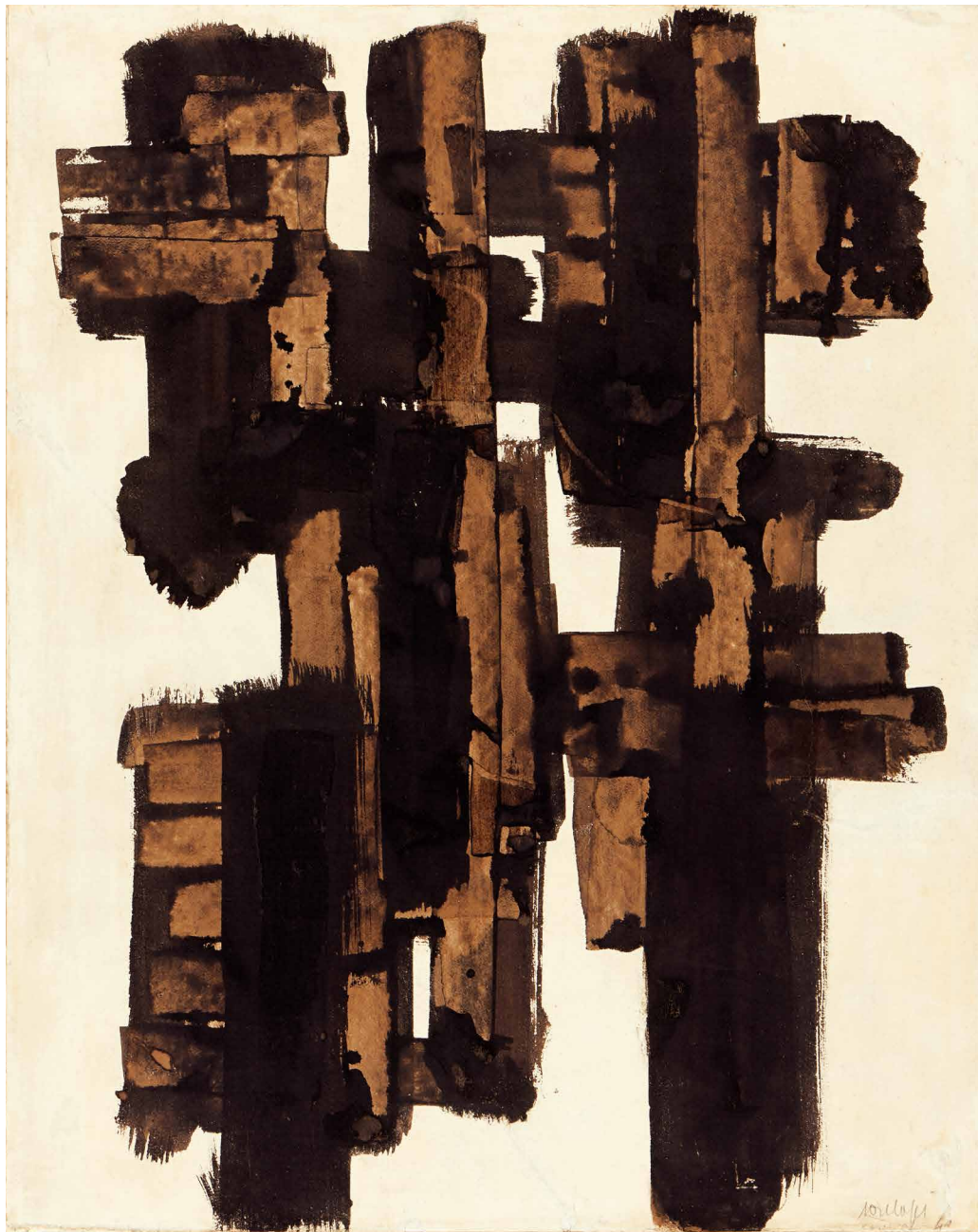
musée soulages
epcc RODEZ

兵庫県立美術館
HYOGO PREFECTURAL MUSEUM OF ART

スーラージュと

2024年3月16日(土) — 5月19日(日)

戦後まもない時期、海外の抽象画と日本の前衛書は、国境やジャンルをこえて、同時代性を示していました。書家の森田子龍(1912-1998/兵庫県出身)が編集を行っていた書道の専門誌『墨美』(1951年6月創刊)では、1950年代、欧米の抽象絵画を次々と紹介しています。フランスの画家、ピエール・スーラージュ(1919-2022/アヴェロン県出身)との関係も、『墨美』をきっかけに始まりました。モノクロームの作品を描く画家たちを、森田は「白黒の仲間」と呼び、そのような仲間ができることは喜びであり、励みになったと述べています。1958年、初めて来日したスーラージュは、森田らと直接、意見を交わしました。国際交流は何をもたらしたか、文化的なアイデンティティはいかにして生まれるのでしょうか。アヴェロン県と兵庫県との20年をこえる友好交流を記念し、スーラージュ美術館の全面的な協力により開催される本展では、スーラージュと森田子龍という二人の作品を通して、芸術家の出会いを考えます。



ピエール・スーラージュ 《Brou de noix sur papier 63×50 cm, 1949》1949年、スーラージュ美術館
© Adage Paris/ Photo : musée Soulages, Rodez/Christian Bousquet

Pierre Soulages and Morita Shiryu

主催=兵庫県立美術館、神戸新聞社 企画協力=スーラージュ美術館 協賛=公益財団法人伊藤文化財団 特別協力=公益財団法人日本教育公務員弘済会 兵庫支部 助成=笹川日仏財団、一般財団法人安藤忠雄文化財団 Organized by The Hyogo Prefectural Museum of Art, The Kobe Shimbun, Co-operated by Soulages Museum Rodez, With the sponsorship of Ito Cultural Foundation, With the special cooperation of Hyogo Branch of Japan Educational Mutual Aid Association of Welfare Foundation, With the assistance of Fondation Franco-Japonaise Sasakawa, Ando Tadao Cultural Foundation

[同時開催の展覧会] コレクション展Ⅲ [特集] 美術の中の物語/[小企画] 生誕180年記念 呉昌碩の世界 一海上派と西泠名家— 2024年1月13日(土)–4月7日(日) [Ando Gallery] 当館2F(入場無料) [横尾忠則現代美術館で同時開催の展覧会] 横尾忠則 ワーイ!★Y字路 2024年1月27日(土)–5月6日(月・振休)

[交通案内] 阪神岩屋駅(兵庫県立美術館前)から徒歩約8分/JR神戸線灘駅南口から徒歩約10分/阪急王子公園駅西口から徒歩約20分/JR三ノ宮駅南から神戸市バス(29・101系統)にて約15分、「県立美術館前」下車すぐ/地下駐車場(乗用車80台収容・有料) ※ご来館はなるべく電車・バスをご利用ください

兵庫県立美術館
HYOGO PREFECTURAL MUSEUM OF ART

musée soulages
epcc RODEZ



森田子龍